

**7/13世界タイトル初挑戦・菊井徹平、ロサンゼルスで最終調整！**

7月13日(金)=日本時間7月14日(土)、メキシコ・ドゥランゴ州・ゴメスパラシオでクリスチャン・ミハレス選手(メキシコ=36戦31勝12KO3敗2分)が持つWBC世界スーパーフライ級タイトルに挑戦する菊井徹平。6月10日(日)に合宿地のロサンゼルスへ渡り、連日IBF世界フライ級王者、ビック・ダルチニアン選手(豪州)、元WBC世界スーパーフライ級王者、ホセ・ナバーロ選手(米国)を含むサウスポーの実力者相手にスパーリング主体のジムワークを行っている。現地メキシコには菊井とマック・クリハラトレーナーが現地時間で7月9日(月)に、花形会長、伊藤、石渡の両トレーナーら日本発スタッフ4名が7月10日(火)に入る。

【テレビ放映】WOWOWで7月16日(月=祝)午後8時より放映

**元日本王者・木村章司、10/8無敗の三浦数馬選手と対戦！**

日本スーパーバンタム級1位(元同級チャンピオン)・木村章司が日本スーパーバンタム級7位・三浦数馬選手(ドリーム=10戦10勝5KO)と10月8日(月=祝)後楽園ホールで対戦することが決まった。木村は3月の宮将来戦(木村の判定勝ち)に続き2戦連続無敗のホープ選手とのサバイバルマッチに挑む。【テレビ放映】フジテレビ739で生中継

**王者・猪崎かずみ、日本女子フライ級タイトル初防衛に成功！**

6月24日(日)新宿FACEで行われた日本女子フライ級タイトルマッチ。チャンピオン・猪崎かずみ(鴨居)VS挑戦者・上村里子選手(フィオーレ)の一戦は終始サウスポー相手に左回りからの左ジャブ、入ってきたところに右ストレートで着実にポイントを稼いだ猪崎が3-0の判定勝ちでタイトル初防衛に成功、世界挑戦経験者(上村選手)に完勝という非常に価値のある勝利となった。

**元OPBF、日本S・バンタム級王者・福島 学が花形ジムへ移籍！**

世界挑戦の経験もある元OPBF東洋太平洋、日本スーパーバンタム級チャンピオン(現日本バンタム級4位)・福島 学が6月20日付をもってJBスポーツジムから花形ジムへの正式移籍が決まった。新天地で再び世界タイトル挑戦を目指す。

**◆試合結果(07年7/4迄)**

**入江兄、A級(8回戦)2連勝！ 田村、B級(6回戦)初勝利！**

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
6月 4日(月)横浜	4回戦・バンタム級	<b>直 太郎</b>	●4回判定負け	小泉 誠(北澤)
・デビュー戦の直太郎。初回こそヒットアンドアウェーでポイントを取るが、2回以降は相手の攻勢、手数に押されてしまい0-3の判定負け。1敗				
6月13日(水)後楽園	4回戦・東日本新人王T	<b>田川 智久</b>	△4回引分(敗者扱)	板寺 瞬(館林)
・新人王初出場の田川。左をうまく使うボクシングで後半2回は中間距離で完全にポイントを取ったが、判定は意外にも引き分け勝者扱いに。1勝6敗1分				
6月27日(水)後楽園	6回戦・54.0kg契約	<b>田村 啓</b>	○1回終了TKO勝	高平 浩一(ロッキー)
・B級初勝利を狙う田村。開始から元A級相手に再三の右フック、接近しての右アッパー、左ボディで圧倒し、初回終了TKO勝ちに繋げた。5勝2KO10敗1分				
6月29日(金)後楽園	4回戦・東日本新人王T	<b>伊藤 圭太</b>	●4回判定負け	牧野 準(ワタナベ)
・新人王2度目の伊藤。打ち合いの中、2回に右フックでダウンを喫する。3、4回を打ち勝つ内容もダウン差で惜しくも0-2の判定負け。4勝1KO5敗1分				
7月 1日(日)有明	4回戦・バンタム級	<b>小野 成大</b>	●2回TKO負け	伊藤 直行(新和川上)
・2勝目が欲しい小野。初回は右の好打でチャンスの場面をつくったが、2回途中から動きが悪くなり、相手の連打に捕まってしまった。1勝10敗2分				
7月 4日(水)後楽園	8回戦・Sフェザー級	<b>入江 一幸</b>	○8回判定勝ち	橋本 辰也(草加有沢)
・A級2連勝を狙う入江兄。前へ出てくる相手にかわしなからの左フック中心の攻撃でポイントを重ねる。判定は2-0も内容的には完勝！8勝2敗1分				

**◇試合予定**

**9/17、トム長岡が松崎博保選手(日本スーパーフェザー級4位)と再戦！**

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
7月 8日(日)	大森ゴールドジム	<b>勝沼 祐介</b>	デビュー	4回戦	スーパーライト級
7月 9日(月)	後楽園ホール	<b>佐藤 昭</b>	17戦6勝1KO11敗	8回戦	フェザー級
7月12日(木)	後楽園ホール	<b>田畑 光輝</b>	12戦6勝3敗3分	6回戦	スーパーフライ級
7月13日(金)	メキシコ・ゴメスパラシオ	<b>菊井 徹平</b>	26戦21勝4KO5敗	12回戦	WBC世界Sフライ級タイトル戦
7月17日(火)	後楽園ホール	<b>中川 健司</b>	7戦5勝2KO1敗1分	6回戦	フェザー級
同	同	<b>今関 佑介</b>	3戦1勝2敗	4回戦	スーパーバンタム級
8月 6日(月)	後楽園ホール	<b>和田 直樹</b>	9戦6勝1KO3敗	5回戦	B級トーナメント・ウェルター級準決勝
8月 8日(水)	後楽園ホール	<b>鎌田 剛幸</b>	12戦6勝1KO3敗3分	6回戦	フェザー級
9月17日(月=祝)	後楽園ホール	<b>トム長岡</b>	12戦8勝4KO3敗1分	8回戦	60.8kg契約(日本4位と対戦)
10月 8日(月=祝)	後楽園ホール	<b>木村 章司</b>	23戦20勝7KO2敗1分	8回戦	56.0kg契約(日本7位と対戦)